



SPIO Newsletter

The Society for Promotion of International Oto-Rhino-Laryngology

平成19年4月30日(月)

7 第7号

財団法人
国際耳鼻咽喉科学振興会

— ご 挨拶 —

理事長 野村 恭也

SPIOが新しい事務所に引っ越して1年有余が経過し、事務処理が円滑に行われるようになりました。昨年11月に文部科学省による公益法人実地検査が行われましたが、要求された書類が即座に提出されること、会計士により毎月SPIOの財務がチェックされていること、等々は検査官の心証を良くしたようでした。公益法人の見直しが全国的に行われますのでより一層適正な運営をしながら、皆様のご要望にお応えできるように努力したいと考えております。

ご存知のようにSPIOは毎年、若手留学生に研究費の助成をしております。その数は過去10年間に19カ国、延べ52名に及んでおります。しかし、その方々が帰国後どのような状況であるのか追跡調査をしておりますが、これがなかなか困難で在籍していた大学の主任教授でさえも把握できておりません。留学中に出版された論文や研究報告等はSPIOへ送られてきますが、その後の活動状況に関する調査が課題のひとつとなっております。

SPIO Awardは毎年ANL誌(Auris Nasus Larynx)に掲載された優秀論文に対して贈られますが、外国の著名な学者で日本の耳鼻咽喉科学発展に貢献のあった方へはSPIO Prizeを贈っております。過去にも同様の賞が贈られており、1998年にはハーバード大学のRobert Kimura氏、シドニー大学のWilliam Gibson氏へ贈られましたが、2006年はウプサラ大学のMatti Anniko氏へ表彰状と賞金が贈られました。

日本の研究を英文の学術書として出版することはSPIOの寄付行為(定款)にも適った事業であります。しかしすぐに来るわけではありません。SPIOでは差し当たり賛助員の皆様の業績集、宿題報告書、退任記念誌等を自費出版する場合の編集協力から始めたいと考えており、第一号として洲崎春海教授著の宿題報告書“鼻・副鼻腔疾患の炎症病態—遷延化とその治療”がSPIO出版より上梓されます。SPIO出版に関心がお有りの方は事務局へお問い合わせ下さい。

SPIOの活動は国際的に耳鼻咽喉科学・関連領域の発展を振興するものですが、勿論わが国における斯学の発展に貢献することも望んでおります。皆様のSPIOへのご要望、助言等をお寄せいただきたくよろしくお願い申し上げます。

平成18年度事業報告

1. 国際学术交流に対する助成
2. 国際学術会議等への助成
3. 留学生(4名)への研究助成
4. SPIO Award 受賞者の選出
5. SPIO Prize 贈呈
6. 国際的研究の調査および資料の収集
7. ホームページ更新
8. ニュースレターの作成

SPIOクラブ

第108回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会の会期中、古川侃会長のご好意により会場内にSPIOクラブを設け、SPIOのご案内及び賛助員の申し込み受付を行います。皆様の交流の場、自由に懇談いただける場として、是非お立ち寄りください。

平成19年5月17日(木)・18日(金) 10:00~17:00
石川県立音楽堂 地下交流ホール 医療機器展示場横